

# 春ア力新聞

2022年 9月号

## ◆ 今月のご挨拶 ◆

9月になりました。夏期講習が始まった頃は、夜の授業が始まる時間は外がまだ少し明るかったのに、今では真っ暗です。季節の移り変わりを感じます。受験生の皆さんはここから本格的な受験勉強のスタートです。夏期講習で積み上げてきたことにさらに加速度をつけ、私たちと一緒に頑張っていきましょう。

## ◆ 夏期講習を終えて ◆

今年も夏期講習が終わりました。1年で一番長い夏休みは生徒を大きく成長させます。今年の夏期講習も生徒たちは大きな成長を見せてくれました。

講師たちからは、生徒たちの成長について次のような声が聞かれました。

「講習前に比べて、かなり英語に慣れてきましたね」、「毎日のように塾に足を運び、友達と一緒に黙々と頑張っている姿が印象に残ってます」。

生徒たちからも、夏期講習を振り返ってみて、次のような声が聞かれました。

「家よりも塾で過ごした時間の方が長かった。中2までの復習がしっかりと出来て、9月最初の北辰テストも良く出来た」、「英語の長文を読むのが楽になった」、「英語の長文を読むスピードが上がり、北辰テストで初めて時間が余った」、「今までの人生の中で一番勉強した」。

2学期も、夏期講習での経験を生かしてさらに大きくステップアップしてもらいたいと思います。成長の加速度を上げて、一緒に頑張っていきましょう。

## ◆ 北入対策講座スタート ◆

9月から、中3生を対象にした「北入対策講座」がスタートしました。「北入」とは「北辰、入試」の略語で、その名の通り、北辰テストと本番の入試に向けた対策を行っていきます。

内容は、5教科の実戦演習と、漢字、理科の重要語句、社会の重要語句の小テストです。

北入対策講座を受講することによって、

1. 今まで溜めてきた知識を本番のテストで活用する練習を多く行うことができます。
2. 本番のテストでとても重要な「環境慣れ」の訓練になります。

単元別の学習ではとても良く出来るのに、テストになると結果が出ない、偏差値が上がらない、というケースは少なくありませんが、その大きな理由は、上に書いた2つのことが十分に出来ていないことです。そのため、この講座が受験生の強い味方になってくれることは間違いありません。

毎年多くの中3生が受講してくれていますが、今年もほとんどの中3生が受講申し込みをしてくれました。途中からの参加も可能です。今年の受験生たちも、いよいよ本番に向けて大きな一歩を踏み出しました。私たちも「4年連続第一志望校合格率100%」を目指して、力を尽くしていきたいと思えます。

**【今週のテーマ：子どもに自分自身を語ってもらう】**

子どもに自分のことを語ってもらったことがあるでしょうか。保護者や教師、子どもの友人など、他人から言われたり、子どもが他人のことを言うのを聞くことはあっても、案外、子ども本人の口から自分がどんな人なのか、直接聞いたことはないのでしょうか。

母親：A君、あなたってどんな子どもなの？

A君：えっ？そんなの知らないよ。

母親：A君って、学校では元気がいいって、先生が言ってたよ。

A君：まあね。元気がいいかな。

母親：部活とか頑張ってるんじゃない。あとは、どんなことがある？

A君：あと？別にないんじゃない。

母親：A君は好きなことは何？やってて面白いなって思えることは何？

A君：なんだろう？サッカーとか、学校の奴らと遊ぶことかな。

母親：嫌いなことはある？

A君：えっ？嫌いなこと？勉強かな！

母親：牛乳もでしょ。

A君：怒られるのも・・・。

たまには、こんな会話を子どもとしてみたらどうでしょうか。子どもの思っていることをドンドン引き出して、子どもが思っていることを共有してみてください。

自分が親に理解されていると感じれば、子どもは安心するはずです。たまには、行動や結果だけでなく、子ども自身のことに関心を持って、正面から見つめてみてはどうでしょうか。ちょっと、心が和む時間が作れるかもしれません。

**『子どもに自分自身を語ってもらう』**

## コラム ☆ 塾長のちょっと一言 ☆

## 【今週のテーマ：ローマ字の学習の重要性】

今回は「ローマ字の学習がなぜ重要か」について書いていきたいと思います。

ところで皆さんは「フォニックス」という言葉を聞いたことがありますか？これは、「アルファベットの文字と音の関係についてのルール」です。たとえば、「A」の文字は「ア」、「B」の文字は「ブ」と読む、というものです。フォニックスを身につければ、初めて見る単語でもほとんどを正確に読めますし、英語のつづりを覚えるのも簡単になります。20年くらい前から中学校の英語の教科書にもフォニックスが載るようになりました。（ただ、どれだけしっかり指導しているかは学校によって差があるようです。）

初めに、フォニックスとは何かという話をしたいと思います。一般的に、「A」の文字は「エイ」、「B」の文字は「ビー」と読まれますが、実はこれはその文字の「名前」です。アルファベットにはそれぞれ、「その文字が表す音」というものがあります。つまり、1つの文字に2つ（またはそれ以上）の読み方がある、ということです。

フォニックスは、「文字が表す音」の方に注目します。「A」は「ア」、「B」は「ブ」、そして「C」は「ク」か「ス」、「D」は「ドゥ」・・・と、最後の「Z」までこれが続きます。（注：実際の音はカタカナの読み方とは異なりますが、以降も含め、ここでは分かりやすくカタカナで表記しています。）

さらに、「EA」は「イー」、「エイ」、「エ」のいずれか、「OU」は「アウ」か「ア」・・・のように、2文字以上の文字が組み合わさったパターンもあります。他にもいくつかのパターンがあり、フォニックスのルール自体は量がとても多いです。

しかし、これを1つ1つ覚えようとすると、量も多くて、きっと途中で嫌になってしまいます。そこで、ローマ字に注目するのです。小学校3年生で初めて学習するローマ字をしっかりと覚えることが、フォニックスを覚えるための初めの一歩になります。

ただし、1つ注意が必要です。ローマ字には「訓令式」と「ヘボン式」があるのですが、覚えるべきなのは「ヘボン式」の方です。この2つの違いは、たとえば以下のような違いです。

- ・「シ」 → 訓令式は「si」、ヘボン式は「shi」
- ・「チ」 → 訓令式は「ti」、ヘボン式は「chi」
- ・「フ」 → 訓令式は「hu」、ヘボン式は「fu」

ヘボン式のローマ字は、実はフォニックスのルールに従っています。そのため、ローマ字を覚えることがフォニックスの学習にそのまま直結するのです。

もちろん、ほとんどの英単語はローマ字読みの通りではありません。しかし、ベースにローマ字の知識があれば、それとどう違うかを比べながら学習できるので、覚えやすさが増します。あとは、これもとても重要なことですが、「文字を見ながら英語の音声を聞き、自分でもハッキリと声に出して読む」ことで、文字の音のつながりが少しずつ分かってきます。そうすれば、気が付いた時にはフォニックスルールがしっかりと身についています。

英語にあって日本語には無い音などもあるので短期間では難しいことですが、ローマ字の知識を活用して皆さんもぜひフォニックスルールをマスターにチャレンジしてみてください。英語の読み書きがとても楽になりますよ。


 今月の MVP

毎月、頑張りが特に目立った生徒を「MVP」として表彰します。今月の MVP は、

### 中3のK. S. 君 です！

中3の5月に入塾してくれた K.S.君。「勉強のしかたがよく分からない」と言って入塾してきましたのですが、入塾後はとにかく素直に、そして真剣に取り組んだ結果、入塾後初の定期テストで点数が急上昇。さらに夏休みもほとんどの時間を塾で過ごし、これからの成長がますます期待できます。

### ○ 先月のブログ記事 ○

いつもブログをお読みいただき、ありがとうございます。先月のブログをまとめましたので、読んでいない記事がありましたらぜひお読みください。

- ・ (8/17 掲載) 24 時間耐久レース <https://k-acdm.jp/entry/20220817>
- ・ (8/23 掲載) 講師ブログ～今年の 24 時間耐久レース <https://k-acdm.jp/entry/20220823>

[公式ブログ (春日部アカデミー通信) QR コード] →



### ○ 9月・10月の行事予定 ○

- ・ 9/3 (土) ～ 北入対策講座 (中3生対象)
- ・ 9/5 (月) ～ 2学期中間テスト対策 (スプリント)
- ・ 9/18 (日)・9/25 (日) 北辰模試 (中3生対象)
- ・ 9/24 (土)・9/25 (日) 2学期中間テスト対策勉強会 (大増・豊春・豊野・東中)
- ・ 10/1 (土)・10/2 (日) 2学期中間テスト対策勉強会 (大沼・春日部中)
- ・ 10/9 (日) 第2回英語検定
- ・ 10/13 (木)～10/18 (火) 通常授業休講日 (回数の調整のため)
- ・ 10/23 (日)・10/30 (日) 北辰模試 (中3生対象)
- ・ 10/29 (土)・10/30 (日) 2学期期末テスト対策勉強会 (中3生)